

<研究主題>

社会を見つめ、よりよい未来を共創する社会科教育の創造

～主体的に問い続け、他者と協働しながら追究する児童の育成を目指して～

Ⅰ 主題設定の理由

昨年度、研究主題「社会を見つめ、未来を問い続ける社会科授業の創造～他者と協働しながら、主体的に問い続ける児童を目指して～」のもと、社会科事象に対して問いを立て、考えを深めていく過程に、「選択」と「共有」の場を取り入れた単元構成の工夫を行うことにより、他者と協働しながら主体的に問い続ける児童の育成に取り組んできた。

「他者と協働しながら取り組む児童の姿」とは、「根拠をもとに他者と対話しながら、最適解や納得解を追究する姿」、「主体的に問い続ける児童の姿」とは、「社会的事象に対して、社会的な見方・考え方を働かせ、問いを立てて追究し続ける姿」として捉え、地域の材等を教材化し、自分たちの周りの「ひと・もの・こと」に着目させるとともに、既有知識とのズレを生かすなど追究したくなる課題を設定し、学習問題について問い続けることができるようにしたり、単元の終末において現在の課題についてどのように捉え、解決していくべきかを考えさせたりしてきた。

その結果、社会的事象を自分ごととしてとらえ、意欲的に調べたり人に伝えたりするなど、主体的に追究していこうとする児童の姿が見られるようになった。また、単元の「問い」と「知識」を構造化した「問いと知識の構図」を作成することにより、児童が立てた問いをどのようにつなげ、深めていくのかという単元構想のイメージを教師がもてたことも成果として挙げられる。

しかし、一部の児童の発言だけで話合いが進んだり、自分の考えを伝えるのみで、相手の考えを受け止めて自分の考えを更新したり、今の問いの答えに満足して、さらなる最適解や納得解を追究し続けたりする姿までには至っていない。また、自分の意見や考えをもたせるために、資料の読み取り方や関連付け方などのスキルを教える必要性も感じている。

さらに、教師が社会的事象に興味をもち、日常的に社会にアンテナをはり、児童に何をどのように学ばせたいかを考えながら、教師自身が面白がって教材化することについても、十分とはいえない。また、児童や学級集団が学びを深めていくための発問や切り返し、児童同士の発言のつなげ方など、教師自身が対話のファシリテーターとしての力量を高めるとともに、児童同士の対話のモデルとしての役割を担う必要性も感じている。

そこで、今年度も昨年度の研究を継続し、児童が社会的事象に対して社会的な見方・考え方を働かせ、問いと予想を行き来したり、根拠をもとに他者と対話したりしながら、最適解や納得解を追究し続ける社会科の授業づくりに取り組む。澤井（2019）は、児童が社会的な見方・考え方を働かせるためには、教師が社会科の授業づくりをする際に、「教材化の視点の工夫」と「問題解決的な学習の工夫」をポイントとして示している。その下位項目として、「問いの構成の工夫」「資料提示の工夫」「対話的な学習活動の工夫」を挙げている。これらをもとに、昨年度の課題を踏まえながら、研究の視点を「問いを重視した単元計画の工夫」「協働的に考えを深める学習活動の工夫」の2点に再構成して取組を進める。

昨年度の研究

研究の成果と課題

今年度の取組

また、相手の発言を受け止めて反応したり、根拠をもとに対話したりする姿は、社会科だけで育成できるものではないため、他教科等日常において、楽しみながら対話したり、対話することで学びが深まったりする活動を取り入れ、教科等や学年を越えて継続的な指導を行っていききたい。

2 研究仮説

社会科の単元・授業づくりで、「問いを重視した単元計画の工夫」「協働的に考えを深める学習活動の工夫」を行うことで、主体的に問い続け（社会的事象に対して、社会的な見方・考え方を働かせ、問いを立てて追究し続け）他者と協働しながら追究する（根拠をもとに他者と対話しながら、最適解や納得解を追究する）児童が育つだろう。

3 研究の視点

（１）問いを重視した単元計画の工夫

- 学習問題と具体の問いの構造化（「問いと知識の構造図」）
 - ・ 追究の意欲と見通しがもてる社会的事象との出合わせ方の工夫
 - ・ 選択と共有による深い学びの展開
 - ・ よりよい社会を考える実社会につなげる問いの工夫

（２）協働的に考えを深める学習活動の工夫

- 進んで対話しようとする態度の育成
 - ・ 目的に応じた対話の場の設定（ペア・グループ・全体などの交流）
 - ・ 話しやすい雰囲気醸成（聞き手の反応や問い返し・個を認め合う集団作り）
- 社会的な見方・考え方を働かせた表現活動の重視
 - ・ 資料を基に根拠や理由を明確にして考えを説明させる指導
 - ・ 社会科用語・語句を活用したまとめ活動の充実

4 研究組織

●授業づくりプロジェクト

- ・ 社会科授業づくりに関わる内容
（教材化・単元構想・授業展開・発問・切り返し・資料の読み取り・問いの工夫など）
- ・ 研究授業に関わる内容
（事前研修・企画・運営など）

●学習環境づくりプロジェクト

- ・ 対話力を鍛える取組に関わる内容
- ・ 教師の対話におけるファシリテーション力に関わる内容
- ・ 安心して対話できる学級経営に関わる内容